

ブラキムラとめぐる！仙台城下町ボヤージュ 【2020年4月7日放送分・柳町／教楽院丁】

毎月第1火曜日に放送しています。歴史家で街歩きの達人・ブラキムラこと木村浩二さんと、旧城下町に88本ある石柱=辻標から歴史の痕跡を探る旅です。街歩きのお供には、仙台市役所1階の市政情報センターなどで販売中の冊子、その名もズバリ「辻標」が便利です。88本ある辻標の場所や周辺の歴史が、写真とともに分かりやすく解説されています。放送と合わせてお楽しみください！

- 奥州街道を江戸へ！私と木村さんは、妄想を膨らませながら江戸へ向かう旅人となっています。
- 今回は「大日堂」で知られる柳町通りへ。辻標は、大日堂の敷地の隅っこに遠慮するように立っています。もっと見やすい場所にあればいいのに！ここにはかつて「柳生山 教楽院丁」という名の修験堂がありました。その「柳」1文字をとって「柳町」ということのようです。木村さんいわく、福島県の梁川あたりにルーツがありそう…とのことでした。
- 元々は寺なので、お参りする際は手をたたかないので作法ですが、今では多くの方がこの大日堂をお参りする際、柏手を打っていますね。なので、我々も今回それに倣いました。
- 間口が狭く、奥行きの長い区画など、当時の街道筋をほうふつさせる街並み。トラストタワーの高層ビルを見上げる場所でも、じゅうぶん歴史散歩を楽しむことができるのです。
- 〈文・佐々木淳吾〉